

登録コード:MH624300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目
科目名	救命蘇生学演習【検理作20M以降】 Practice for Life Support and Resuscitation		
担当教員	青木 薫 金井 誠		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻・理学療法科学専攻・作業療法科学専攻/3年生 前期(前半) 火曜・5時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科211講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	救命救急の現場に必要な蘇生法を含む初期治療について知識と技術を習得する。
	MH25カリ・保健・検査, MH25カリ・保健・理学, MH25カリ・保健・作業, MH23カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・理学, MH23カリ・保健・作業		
	＜基礎的・専門的な知識と技能＞保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	救命救急の現場に必要な蘇生法を含む初期治療について知識と技術を習得する。
授業で学べる「テーマ」	＜科学的探求力＞変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	救命蘇生法を学習することにより、心肺停止・急変患者に対して科学的にアプローチして対応する能力が身についている。
	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	救命救急に関する基礎知識とそれに関連した代表的な疾患（病態）を通じた観察のポイントや初期治療の技術を学習します。 本授業は、1年次に学んだ「系統解剖学」、「生理学」、2年次に学んだ「内科学」の知識を前提とします。そして、本授業の内容は4年時の臨床実習における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医師・看護師としての実務経験を活かして講義を行います。さらに第一線で活躍されている松本市広域消防局救急隊員の皆さんに講義をお願いしています。		
授業計画	第1回(4月14日)我が国の救命救急の現状と心肺蘇生の意義 (講義) 211講義室にて行います。 第2回(4月21日) AEDと心疾患、成人のBLS 第3回(4月28日) BLSの演習 第4回(5月12日) 脳血管疾患 BLSの演習 第5回(5月19日) 講義と演習 第6回(5月26日) 松本市広域消防局救急隊員による講習(予定) 授業時間が30分から1時間程度長くなる可能性があります。 第7回(6月2日) BLS・AEDの演習(演習) 第8回(6月9日)シナリオに従ったグループ単位の実技試験 授業アンケート (演習) 講義は211講義室で、演習は北校舎4階西側の看護実習室2で行います。実習室を使う際には、上履きが必要です。また、演習は体を動かせるような衣類を準備してください。		
授業の進め方	座学と演習により実施するが授業の進め方は社会的状況等により変更することがある。 講義で使用するスライドは事前にeALPS上に掲載し通知する。 座学は講義室行いスライドとビデオを用いる。 受講者数の確定後にグループ分けを行い、実習室で演習を行う。 実習室での演習の際には上履きと体を動かせるような衣類を準備する。 最終回グループ単位でシナリオに従って実技を行い相互に評価する。		
テキスト、教材、参考書	参考書:改訂第4版BLS:写真と動画でわかる一次救命処置(小林正直 監修、Gakken)		
成績評価の方法	授業のあとweb上で行うテストと最終回におこなう実技試験の結果を総括的に評価する。 総括的評価の配分は、web上のテストは20点に換算し、実技試験は80点に換算する。これらを合計したものを最終評価点とし、60点未満を不可とする。 実技試験は、グループ単位でシナリオに従って実技を行い、グループ単位で評価する。実技のシナリオを配布する際に評価項目を提示する。 実技の各項目の採点は提示した基準に従って学生相互に行う。		
成績評価の基準	成績評価の判定基準は上記最終評価点により、下記の通りとする。 90点以上:秀 80点以上90点未満:優 70点以上80点未満:良 60点以上70点未満:可 60点未満:不可		
事前事後学習の内容	授業計画に沿って、事前にeALPSで配布する資料を用いて自己学習を行う。 事後学習では、講義内容の再確認のための復習テストをeALPS上で行い、知識の定着を促す。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間(2時間×7.5回) + 自己学習時間30時間(4時間×7.5回) = 45時間		

事前事後学習の内容	
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	心肺蘇生は最初の10分間に何をすることが重要です。この授業ではBLS（Basic Life Support）を主として扱いますのできちんと修得して下さい。また緊急疾患の代表的な症候を扱いますので，いざという時に役立ちます。 質問はその都度受け付けるので，積極的に行ってください。授業時間内に質問できなかった場合は，随時メールを受け付け、次回の授業の冒頭で解説します。 質問への対応：青木 薫 kin29men@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時（要事前連絡） 保健学科南校舎1階 青木研究室